

令和3年度
北多摩北部地域保健医療協議会 暮らしの衛生部会
会 議 録

- 1 開催方法 書面開催
※令和4年3月2日（水曜日）、委員宛に資料を送付し、意見書の提出をもって出席とした。

2 北多摩北部地域保健医療協議会 暮らしの衛生部会委員

氏名	現職
田中 英樹	一般社団法人清瀬市医師会長
北村 晃	一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会長
石塚 卓也	一般社団法人東村山市薬剤師会長
田中 勇	警視庁小平警察署長
大山 房七	北多摩北部食品衛生協会会長
辰島 清江	東村山環境衛生協会会長
奥澤 康司	元東京都福祉保健局食品医薬品安全担当部長
西村 一弘	公益社団法人東京都栄養士会長
三浦 周一郎	公募委員
矢ヶ崎 直美	清瀬市生涯健幸部長
小堀 高広	東久留米市福祉保健部長
佐藤 謙	西東京市健康福祉部ささえあい・健康づくり担当部長
山下 公平	東京都多摩小平保健所長

北多摩北部地域保健医療協議会長

手島 陸久	日本社会事業大学元教授
-------	-------------

(敬称略)

3 欠席委員

なし

4 代理出席者

なし

5 議題

- (1) 部会長選出
- (2) 各部会の所掌事項の一部変更について
- (3) 地域保健医療推進プランの進捗状況について
- (4) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

6 意見のとりまとめについて

全ての委員の方から意見書をいただき、議決事項は承認された。

(意見とりまとめ結果は別紙のとおり)

令和3年度北多摩北部地域保健医療協議会 暮らしの衛生部会（書面開催）
各委員からの意見

1 部会長の選出について

賛成 12名
反対 0名
棄権 1名

2 各部会の所掌事項の一部変更について

賛成 13名
反対 0名

	意見	事務局コメント
1	・昨今、異常気象等で予期せぬ災害が起こっています。不測の事態に備えての対策は必要です。 ・人材育成は少し早いと思われる時期から、次代を担う人材を育てていくことが大切だと思います。	今回の所掌部会の一部変更により、感染症対策、災害対策、人材育成などについて、多様な分野の委員から御意見をいただくことにより、これまでとは異なる分野の観点からの意見交換が加わります。 圏域における課題や好事例の共有等が一層深まるよう、事務局も努めて参ります。
2	グローバル化により、新型コロナウイルス感染症が収束したとしても、新たな感染症が流行することが予想されます。新感染症の流行は、地域社会に大きな影響を与えることから、各部会でしっかり見ていくことは必要なことだと思います。	
3	良いと思います。 感染症対策を今まで通り続けていきます。	
4	妥当な提案だと思います。	
5	変更案でよいと思います。	

3 地域保健医療推進プランの進捗状況について（協議事項）

	意見	事務局コメント
1	昨年度来、新型コロナウイルスの感染が続き、予定の事業の実施に制約が生じている中、WEB開催や動画配信など少しでも事業を継続しようと工夫されている様子が見えます。引き続き、計画事業の推進に向けて取組みのほどよろしくお願ひします。	御意見のとおり、コロナ禍でも各機関がこれまでの取組を後退させないよう、事業・活動を進めています。今後も好事例・先例事例を共有し、一層推進されるようにしてまいります。
2	先駆的事例が思ったより多くあげられていたが、医師会が実施主体のものが多くに思いました。公募委員からの事例報告もあり、こうした先駆的事例で真似られるものは検討して実施できるように進めてほしいと思いました。	

	意見	事務局コメント
3	資料3-3 第3章 災害対策において要配慮者に対する食と栄養に関する支援体制として、現在区市町村と（公社）東京都栄養士会は協定書を締結しているが、本医療圏では未締結であるため、至急各市との締結が進むよう、推進して市民の災害時の食と栄養の安全を確保していただきたい。	現在保健所と管内市の健康主管課の栄養担当で「行政栄養士災害時における栄養・食生活支援マニュアル」や初動期のフローチャートを作成し、体制整備を進めております。これらについては、市の防災課にも情報提供をしております。来年度は、保健所としては市民に向け備蓄の必要性について情報提供し、引き続き市民の災害時の食と栄養の安全を確保して参ります。

4 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

	意見	事務局コメント
1	新型コロナのような感染症に対応するのは各市ではなく、保健所を中心とした圏域でやるべきだと思います。	第5波までの課題を踏まえて、都・保健所では第6波への備えを進めておりましたが、想定を大幅に超える感染者数となったため、対応が行き届かないこともありました。市、医師会では、自宅療養者に対する都・保健所の対応を補う生活支援や医療支援の取組を行っていただいています。 医療機関、医師会、市等、関係機関のみなさまに御理解・御尽力いただいていること、保健所職員一同感謝申し上げます。新規患者数は、第6波のピーク時より減少しましたが、高い値で推移しています。引き続きさまざまな機関と連携しながらコロナ対策を進めてまいります。
2	住民に直結するサービスを提供される最前線の皆様のご労苦、察するに余りあるところです。引き続き対応のほどよろしくお願い申し上げます。	
3	各市よく取り組まれていると思います。事務局の皆様も大変お疲れ様です。	
4	発生届は、HER-SYSにて提出するよう繰り返し会員に通知しております。今後も繰り返し指導していきますので、よろしくお願い申し上げます。	
5	連携して対応していきたいと思います。	
6	工作上大変参考になります。	
7	人口密度が同じくらいの区と市で、人口10万人に対しての患者数をみると、区部の方が患者数が多い。また、人口密度が低い東村山、清瀬、東久留米は人口10万人に対しての患者数でも区部・市部合わせても低いところに位置している。人口密度の高い都心方面には極力行かないようにするのがよいのであろうと考えてよいのでしょうか。	

5 その他

	意 見	事務局コメント
1	<p>コロナで活動が制限され、認知症の方が多くなったように思われます。</p>	<p>コロナ禍にあっても、高齢者が身体を動かしたり、友人と交流したりする機会を確保することは、認知症やフレイル予防に重要です。</p> <p>各市では、介護予防サービス等を提供する事業所が感染予防対策等に要する費用の補助を行うとともに、在宅で気軽に行うことができる体操動画の配信や少人数で行う筋トレサークルの育成、人混みを避けて楽しめるウォーキングコースの紹介などに取り組んでいます。</p>
2	<p>分かりやすくおまとめいただき、ありがとうございます。</p>	<p>コロナ禍でも各機関がこれまでの取組を後退させないよう、事業・活動を進めています。今後も好事例・先例事例を共有し、一層推進されるようにしてまいります。</p>